

67 高次脳機能障害情報・支援センターウェブサイトの構築と運用について

—より多くの人アクセスするサイトをめざして—

企画・情報部 高次脳機能障害情報・支援センター 今橋久美子、中島八十一、西牧謙吾、深津玲子、幕内充、井上美紀、澁屋康則、堤美穂、河野智子、小出千鶴子、佐藤春巳、許優子

【背景】高次脳機能障害情報・支援センターでは、平成24年3月末にウェブサイト (http://www.rehab.go.jp/brain_fukyu/) をリニューアルし、コンテンツの整備と更新を行ってきた。本研究では、サイトアクセス数の増加を目的として運用評価を行い、現状把握と今後解決すべき課題を明らかにした。

【方法】アクセス解析ツールおよび被リンクチェックツールを用いて、ウェブサイトへのアクセス状況を分析した。対象はサイトを構成する113ページとした。分析事項は、平成25年11月のページ別アクセス数・滞在時間・直帰率(1ページだけ閲覧して外部へ去った割合)・離脱率(あるページから外部へ去った回数の割合)、検索に使われたキーワード、アクセス1回あたり閲覧ページ数、新規アクセス割合、使用デバイス、地域、被リンク状況の10項目とした。

【結果】以下に主な結果を示す。

- アクセス数：628/週（平成24年5月：カウンター設置）→3,295/週（平成25年11月）
- ページ別評価
アクセス数が多い：「トップページ」「症状」「支援・診療のための資料」「相談窓口」「制度」
滞在時間が長い：「環境調整」「センター長コラム」「就労支援」「生活訓練」「医学的リハ」
直帰率が低い：「トップページ」「資料」「研究成果」「FAQ」「リハビリテーション」
直帰率が高い：「施策通知」「センター長コラム」「医学的リハ」「相談窓口」「就労支援」
離脱率が低い：「リハビリテーション」「研究成果」「サイトマップ」「支援の組み立て方」
離脱率が高い：「医学的リハ」「就労支援」「症状」「生活訓練」「環境調整」
- 検索に使われたキーワード：「高次脳機能障害」＋「症状」「障害者手帳」「リハビリ」「国立リハビリテーションセンター」
- アクセス1回あたり閲覧ページ数：平均2.9ページ
- 新規アクセス割合：62.6%
- 使用デバイス：「デスクトップ」「モバイル」「タブレット」
- 地域：「大阪市」「渋谷区」「港区」「名古屋市」「横浜市」
- 被リンク元：「地方自治体」「当事者団体」「公益財団（就業関連）」「法律事務所」

【考察】ウェブサイトへのアクセス数は1年半で約5倍に増加した。今後は、記事更新に加えて、直帰率・離脱率が高いページについては、関連ページに内部リンクし、滞在時間が短いページの記事については、図表を加え、表記を平易にするなどの改善が必要と考える。さらに、幅の狭いモバイルによる閲覧の増加に対応して1ページの長さも検討したい。また、閲覧者の所在が高次脳機能障害支援歴の長い支援拠点機関や全国規模の当事者団体の所在地と一致することは興味深く、閲覧の少ない地域からのアクセス獲得も課題と考える。